

夢追い人

『人は金なり』

人との御縁が財産

浜新硝子株式会社

代表取締役社長 過能 史光さん

今回は、浜新硝子株式会社佐賀工場へ「夢追い人」の取材に伺った。印象的だったのが取材後、過能社長から玄関口まで送って頂き、二十名前後の事務所職員のみな



浜新硝子株式会社佐賀工場

さんが一斉に立ち上がり、深々と腰を折り、「ありがとうございます！と明るく元気にお礼をしてくださったことだ。これほど接客のしつかりした会社は初めてである。

浜新硝子株式会社の創業理念である「人は金なり」、これはどんな意味だろうか。過能さんはこう語られる。「人との御縁が財産という思いを胸に、お客様に感動を与えることを喜びとする姿勢のことです。そこから顧客との信頼の輪が生まれると考えています。この理念を基に浜新硝子株式会社では、人間教育に力を入れています。それなくして会社は維持できないと思うからです。

道徳面、挨拶、言葉遣い、協調性など、職場の環境作りに力を入れています。」

浜新硝子株式会社は、従業員一四〇名。業界屈指の技術力と最先端設備群を持ち、六〇〇〇パターンのガラス加工を行っている。高次元の硝子加工を実現している企業である。

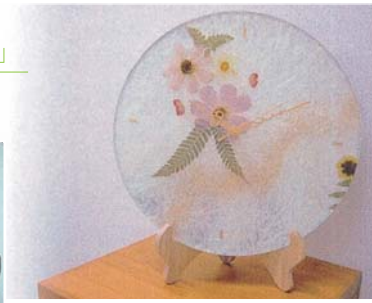
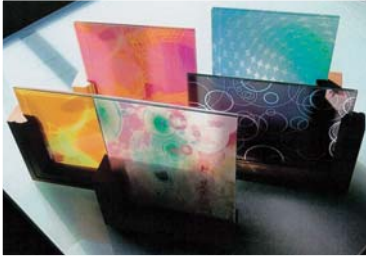
また、企業理念SQCDと品質マネージメントシステムISO9001・2000との両輪でバランスの取れた運営をしている。SQCDとは、SPEED（素早い対応）、QUALITY（満足頂ける品質）、COST（満足頂けるプランのご提案）DELIVER

RY（出荷からお届けまで責任持つて）という意味で、本社・福岡工場、佐賀工場、東京営業所はすべて同じビジネスシステムで動いている。営業分野は四部門に分かれる。まず大川家具用ガラス資材、九州域の建築用外装建材ガラス、全国内装用及び産業用ガラス資材、そして新規自社ブランド【STYLE GLASS】。売り上げはそれぞれ二十五%ずつである。

さて、自社ブランド【STYLE GLASS】とは、いったいどういった内容なのだろうか？
自社ブランド【STYLE GLASS】とは、デザインコンストラクトビジネスで、ガラ



押し花を使った「天然素材」



合わせガラスの中にグラフィックデザインを封じ込めたデザインガラス
「Graphic × Glass」

産地大川の木工業とガラスを融合させたシステムファニチャーだ。「なんとか、デベロッパ、設計事務所、企画会社、有力デザイナーを巻き込んだ最終的なモノづくりの産地として、大川に全国展開のできる仕事を呼び込みたいという目標があります。浜新硝子は地元大川で育った企業です。微力ですが、思い入れのある大川の活性化に繋げるよ

う力を尽くしたい。」と力強く話される。これは余談だが、社長がインタビュアの席を外されたとき、こっそりある従業員の方に社長の人柄を聞いてみた。（社長の承諾済み）「仕事には厳しいですが、人一倍優しさと思いがやりがありますね。相手によって態度が変わることはありません。」



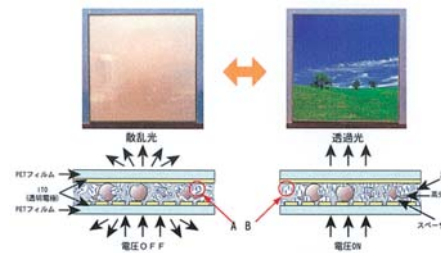
2008 夏の彩展
産地大川の木工業とガラスを融合させたシステムファニチャー

Surprised glass【瞬間調光ガラス】



動作原理

電圧を駆けていない時は図Aのように液晶がバラバラに向いており、光が散乱して見えます。電圧を駆けると図Bのように液晶が同一方向に向き、光が透過して、透明に見えます。



液晶パネルの基本原理

※写真はイメージになります

を何とか活性化させたいという思い入れ。これらが浜新硝子(株)の確かな原動力となっている。